

スズキ、海外向け大型二輪車 新型「KATANA(カタナ)」を発表



KATANA

スズキ株式会社は、10月2日から7日*までドイツ・ケルンで開催されている二輪車の国際見本市「インターモト」において、海外向け大型二輪車の**新型「KATANA(カタナ)」**を発表した。

※プレスデー:10月2日、一般公開日:10月3~7日

新型「KATANA」は、1980年のケルンモーターショーに出品し、日本刀をイメージした前衛的なデザインで世界のバイクファンの注目を集めた「GSX1100S KATANA」を原点とする新型モデルである。開発にあたっては、スズキのものづくりの精神と「KATANA」の歴史を背景に、「スズキらしさ」と「KATANAらしさ」を表現することに注力した。その結果、鍛錬を重ねた日本刀のように、他にはない個性のかつ前衛的なデザインと現代の最新技術を併せ持つ、全く新しい「KATANA」が誕生した。

「GSX1100S KATANA」をモチーフに、現代風にアレンジした独自性の高いデザインは、シャープで大胆なラインをあしらった流線型のスポーティーなスタイリングを採用した。先進的な印象の長方形の縦型2灯LEDヘッドライトや、刀の切先をモチーフにしたLEDポジションランプにより「KATANA」らしい特徴的な顔つきに仕上げた。また、スズキで初めてスイングアームマウントリヤフェンダーを採用し、リヤウインカーとナンバープレートホルダーを下部に配置することで、凝縮感のあるデザインを実現した。

「KATANA」にマッチした高揚感のある加速とストリート走行に適した扱いやすさを実現するため、「GSX-R1000」をベースに改良した999cm³直列4気筒エンジンを軽量フレームの車体に搭載した。さらに、3段階から選択可能なトラクションコントロールやABS、倒立フロントフォーク、ブレンボ社製のラジアルマウントフロントブレーキキャリパー等を装備した。

新型「KATANA」は、浜松工場で生産し、2019年春より欧州を中心に販売を開始する計画である。

●新型「KATANA」の主要諸元

- ・全長2,125mm×全幅830mm×全高1,110mm
- ・ホイールベース 1,460mm
- ・装備重量 215kg
- ・エンジン型式 999cm³水冷4サイクル直列4気筒エンジン
- ・最高出力 110kW／10,000rpm
- ・最大トルク 108N・m／9,500rpm

10月2日に開催された記者発表会において、鈴木俊宏社長は「おもしろい、楽しい、ワクワクする商品をお客様の立場になってつくるのが、スズキの役割であり、**新型「KATANA」**はそのスズキの将来を示す重要なモデルである。今後も世界中のお客様に革新的でワクワクする商品をお届けすべく、2021年までに、大型車を中心に10機種以上の新型モデルを投入し、シリーズ化と商品ラインアップの強化を図っていく。」と述べた。